

○事業所名	ルームズ唐人町		
○保護者評価実施期間	2026年 1 月 10 日		～ 2026年 2月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16 日		～ 2026年 3月 13 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 26 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペース、設備、活動内容が充実している	スタッフの個性を活かし、音楽や演劇、スポーツといった多彩な活動の充実を図っています。小グループでのスキルトレーニングに加え、余暇活動を通じて、児童が自然に感情を表出し、自己表現を身につけられるよう支援しています。	集団や小グループでの活動になじめない児童には、個別活動での対応をするが、より専門的な支援を実践するためには、人員増員や環境整備のさらなる拡充を検討していきたい
2	活動スペース、設備、活動内容が充実している	活動内容に応じて、興味や身体機能に基づいたグループ分けを行う一方で、あえて同一の活動の中で上級生が下級生をサポートする体制も取り入れています。これにより、両者が互いに学びを深められるよう工夫しています。	サポートを受けて活動に取り組む中で、後に自分自身がサポート役を担えるような意識を持てる支援をしていきたい
3	個々のニーズに応じ、集団・個別活動を策定し支援している	「学習」と「運動」を柱に、児童一人ひとりの興味関心に基づいた課題やプログラムを提供している。また、個別のニーズに応じて個別支援と集団活動を柔軟に組み合わせ、最適な支援体制を整えている。	小学生には「5領域」の中でも特にコミュニケーション支援を重視。中高生に対しては、それに加えて自立した生活を見据えた「生活スキル」や「生活習慣」の向上を目指し、個々の課題の優先順位を明確にした上で、計画的な支援を実践していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民や地域の子どもたちとの関わり	会場を借りてコンサートや作品展覧会を実施し、来場された一般の方々との交流は図れたものの、事前に地域住民に対しての周知活動が不足しており、広く浸透させるまでには至らなかった。	同じ組織内の事業所との合同アートイベントやスポーツイベントを開催し、子どもたち同士が交流できる場を広げている。今後はこうした交流機会をさらに増やすとともに、イベント開催時には地域住民の方々を招待できるよう具体的な方法等を検討したい。
2	きょうだい児への支援が不十分	きょうだい児も参加可能なクリスマス会などを実施しているが、参加者は一部にとどまっており、案内方法に課題を感じる。 また、参加した際もきょうだい児が不安や遠慮を感じている様子が見受けられるため、安心して過ごせる環境づくりを検討していきたい。	ニーズはあると感じているため、遠慮なく参加してもらえる内容や案内方法を工夫したい
3	マニュアル、活動の様子などの発信が不十分	マニュアル、安全計画など契約時に加え、改訂した際など定期的に冊子で渡しているが、内容について「分からない」と回答されているケースがあり、周知方法が不確実であり、周知の徹底に至っていない	不明点を気軽に質問できるようにするなど、目通しを促す方法を考えたい。また日々の活動の様子については、今後、連絡帳アプリを導入し、写真等を活用して視覚的に伝わりやすい発信を工夫したい